

(1)事業の概要等

事業番号	B2103-1
実施計画事業	◎
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	中心市街地にぎわい創出事業				担当部	地域活性化営業部					
	事業期間	令和3年度	～	令和7年度以降		担当課	シティプロモーション課					
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	21	展開 方向	3	担当係	にぎわい創出係				
	予算区分	一般会計	款	7	項	1	目	4	大	2	中	3
	根拠法令・個別計画	小牧市にぎわい広場の設置及び管理に関する条例				事業種別	一般事業					
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	にぎわい広場にキッチンカー出店やイベントの開催などの利用を促進し、まちの魅力向上・にぎわい創出を目指す。										
	対象 (何・誰を対象に)	市民、中心市街地に訪れた人										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度の実施内容 年間で109件の利用があった。主催者申告による年間来場者総数は12,977人 ●直接経費(令和4年度) 12 委託料 にぎわい広場清掃委託料 862千円 にぎわい広場ホームページ作成委託料 319千円 13 使用料及び賃借料 防犯カメラ借上料 151千円 10 需用費 電気料金 261千円 水道料金 8千円 修繕料 0千円 										
受益者負担	有	(利用料単価 1時間あたり)【区画/非営利利用/営利利用】 A区画 650円 1,300円 B区画 150円 300円 C区画 590円 1,180円 D区画 170円 340円 E区画 210円 420円 F区画 350円 700円 店舗利用(A区画からF区画までいずれかの区画の一部)120円 受益者負担総額 440,880円(99人)										

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5	
事業費	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	—	—	932	1,160
			国・県支出金	千円					
			その他	千円	—	—	243	440	
		計(A)	千円	0	0	1,175	1,600		
		対前年比	%	—	—	—	136.1%		
	予算額	千円	—	—	3,779	1,863	2,941		
人件費	正規職員	人			0.35	0.20			
	正規職員(平均賃金)	千円	0	0	2,620	1,497			
	その他職員	人				0.40			
	その他職員(時給×時間)	千円				596			
計(B)	千円	0	0	2,620	2,093				
事業費合計(C=A+B)		千円	0	0	3,795	3,693			

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	21	展開方向		
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1	市の主なイベントやまつりに来場または参加した市民の割合	%	↗	33.9%	—	—	—
2							
3							

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標	イベント来場者数	目標		—	—	10,000	10,000	10,000
実績				—	—	8,559	12,977		
活動指標		Instagram投稿数	目標	件	—	—	—	—	
			実績		—	—	114	113	
活動指標	にぎわい広場年間利用日数	目標	日	—	—	100	100	100	
		実績		—	—	82	109		
単 位 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	61	99		
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	62,214	37,305		

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの					
	事業の達成状況と課題		<p>令和4年度はにぎわい広場利用日数が目標を超え、109日となった。これは、週に2日以上ペースで利用(多くはキッチンカー出店)があり、当初のにぎわい広場利用の目標値を達成したこととなる。</p> <p>また、令和3年度に比べ、令和4年度以降は毎月定期的に行われるイベントが複数あるため、早い段階から安定的な予約があり、令和5年度も令和4年度と同じ程度の利用が見込まれる。</p> <p>さらに、各イベントの集客も上がっており、駅前に訪れる人の増加、滞在時間の延長に寄与していると思われる。</p> <p>上記指標(2)の事業費で見るとR4の事業費合計3,693千円に対し、受益者(利用申請者)年間99人なので、一人当たり37,305円と割高に見えるが、年間来場者(12,977人)を受益者ととらえれば、コストは一人当たり約285円となる。</p> <p>課題として、近隣市町でも近年同じようなキッチンカースペース利用を想定した広場が整備されていることや、民地でもキッチンカーイベントが多数おこなわれていること、キッチンカー出店に目新しさがなくなってくる可能性があり、にぎわいが先細りしていく不安がある。</p>					
今後の実施内容		<p>現在も、Instagramや告知看板作成など、コストのかからない宣伝方法で、イベント主催者(利用者)のPRをバックアップしたり、新規の利用者について丁寧にアドバイスし、安全に開催できるよう努めている。</p> <p>今後も周辺環境に配慮しながら、より地元根差したイベント・出店を増加させていきたい。</p>						
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節		